



あかねだい



学校便り 2月号
令和3年2月26日
横浜市立あかね台中学校

学校教育目標 自らすすんで、学ぶ、鍛える、共に生きる

学年末の節目の時期を迎えて

副校長 松本 たか子

今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で、これまでとは異なった生活を余儀なくされましたが、学校全体で感染防止の対策に協力し、工夫しながら教育活動を行うことができました。これも生徒・職員全員の努力と、御家庭や地域の皆さまの御理解と御協力のおかげと思い、改めて感謝いたします。

さて、まもなく、年度の節目を迎えようとしています。植物の竹は、中は空洞ですが一定の間隔で節があり、この節のおかげで強さと柔軟さを備えていると言います。竹より幹がずっと大きい木が嵐や雪で倒れても、しなやかに曲がってまた戻り、生きているということがあります。生きている限り、自然の困難に遭遇はしますが、必ず成長していくしなやかさとたくましさは、私たち人間の中にもあると思っています。この時期に生徒の皆さんも、今年度の自分を振り返り、良かったこと、成果や課題などを確認し、一つの節としてほしいと思います。そして次の季節にまた新たな気持ちでたくましく、そして周りの多様性に寛容に対応できるしなやかさをもって、成長を続けられるよう、エネルギーを蓄えておいてほしいと思います。



今年度の卒業式は、3月11日（木）に挙行予定です。感染防止策として、保護者の方の御列席については各家庭一名とさせていただきます。在校生は事前にビデオ録画をして、3年生に精一杯の気持ちを届けようと準備を進めています。困難な日々を越えて義務教育を修了し、新たな世界に羽ばたく卒業生の前途に、大いなる幸あれと、あかね台中学校全員から、心からのエールを送りたいと思います。

卒業生のコサージュ

あかね台中学校で伝統にもなりつつある卒業生が卒業式に胸につける「コサージュ」。例年、文化祭の時期など保護者のみな様の力をお借りしていますが、今年は文化祭など、保護者の方が来校できる機会が

設けられない状況でした。PTAの役員の方々のご厚意で例年と変わらない形で用意していただきました。創立10周年の卒業式を様々な形で工夫をし、お祝いしたいという思いでご尽力いただいておりますことに心より感謝いたします。式当日、3年生がより一層華やかに輝くことと思います。

1年生 自然教室事前学習

1年生は現在、自然教室の事前学習として、それぞれのクラスが長野について5つのテーマに分かれて調べ学習をしています。各班で1枚壁新聞を作り、発表会をクラス内で行います。大テーマは同じでも、個人の記事や紙面には、それぞれの個性と切り口があり興味深いものになっています。また、クラス内発表会を経てクラスがシャッフルする学年の発表会もあります。各クラスのひと班ずつが集結して発表会を行います。どんな手法でプレゼンをするのか、そのアイデアにも注目です。

2年生 修学旅行事前学習

2年生は現在修学旅行の事前学習をすすめています。

奈良の名所・名産品を調べ、ガイドブックを作成中です。「見たら行きたくなる」がたくさんつまったガイドブックを作って実際のコースづくりに役立てていきます。

オーソドックスな場所から、新名所、そして穴場スポットなどが紹介されます。調べている間にも旅気分を一足先に感じられている様子です。現在の元号である『令和』の元になった梅の花の和歌も日本最古の歌集である『万葉集』の中にあります。万葉集の舞台は奈良です。

お 礼

先日、横浜市ふるさと納税「教育活動の充実」として、5万円を御寄附いただき、体育館のデジタイマーを購入・活用させていただきました。大変ありがとうございました。

今までに学んできたことや身近な話題の中にも「奈良」を感じられるものを見つけるたびに学びが深まっていくことと思います。いにしえから続く豊かな学びの旅はすでに始まっています。

美しく志高く、花開く

現在、職員玄関に「啓翁桜」が満開を迎えています。3年生の受験の時期に合わせて、地域の方からいただいたものです。それぞれの努力が花開くようにという想いをこめて贈られました。

自分の選んだ道をこれから進んでいく卒業生を温かく包みこむように重なり合う薄紅色の花弁。たくさんの人に支えられ、成長してきた3年間。この満開の桜を眺めながら卒業までの大切な時間を仲間と共に過ごしてほしいと思います。



花言葉：純 潔
精神美

啓翁桜は吉永啓太郎氏がミザクラを台木として、ヒガンザクラの枝変わりとして誕生させました。啓太郎氏の『啓』の一文字をとって名付けられました。